

モモ新品种「さきがけはくとう」の 収穫適期の判定方法



収穫適期の
「さきがけはくとう」

収穫時の果皮 クロロフィル値	収穫後日数	
	2日	4日
30-35	× 適熟・食味不良	× 適熟・食味不良
25-30	○ 適熟	○~△ 適~やや過熟
20-25	◎ 適熟	△ やや過熟
15-20	△ やや過熟	× 過熟

適期（果皮クロロフィル値で20~30）に収穫した「さきがけはくとう」は、収穫4日後まで外観、品質が優れる

開発のねらい

『岡山白桃』のシリーズ化を目指して育成した早生のオリジナル新品种「さきがけはくとう」は、シリーズを代表する「清水白桃」と同じ基準で収穫すると果肉が柔らかく、成熟が進んでいます。そこで、「さきがけはくとう」に適した収穫適期の判定方法を明らかにしました。

新技術の概要

- 「さきがけはくとう」は、「清水白桃」に比べてやや早めが収穫適期で、成熟期の果皮色にわずかに緑色が残っている程度です（果皮クロロフィル値で20~30）。
- この判断基準で収穫した「さきがけはくとう」の日持ち性は、同じ早生品種の「はなよめ」や「日川白鳳」とほぼ同じ4日程度で、優れた食味が維持できます。

活用場面

「さきがけはくとう」の適期収穫により、岡山ならではの白くて甘い早生モモを消費者に届けることができ、『岡山白桃』のブランド強化と、生産農家の収益性向上に役立ちます。